



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏見 有貴
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務部門管掌 兼CCO (氏名) 井内 克之 (TEL) (052)933-6519
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け) IR電話会議
 (百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	86,276	2.5	9,980	17.4	11,159	27.5	5,696	3.6
2020年3月期第2四半期	84,197	8.9	8,501	39.9	8,750	34.5	5,499	37.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 6,318百万円(22.2%) 2020年3月期第2四半期 5,171百万円(68.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	53.21	49.00
2020年3月期第2四半期	51.38	47.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	419,166	137,369	31.6
2020年3月期	400,833	132,991	31.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 132,258百万円 2020年3月期 127,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	23.00	—	17.00	40.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	165,000	3.7	11,000	△5.6	13,000	4.2	6,200	△13.1
								57.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	108,520,799株	2020年3月期	108,520,799株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,450,970株	2020年3月期	1,458,382株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	107,067,645株	2020年3月期2Q	107,040,449株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の概況

※本日(2020年11月10日)業績予想の修正に関するお知らせを公表しております。当第2四半期連結累計期間は公表数値に基づく「計画」が無いため、「前年同期」との比較を行っております。

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	84,197百万円	86,276百万円	+2.5%
営業利益	8,501百万円	9,980百万円	+17.4%
経常利益	8,750百万円	11,159百万円	+27.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,499百万円	5,696百万円	+3.6%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い、経済活動が縮小し、多くの企業が事業活動の制限を余儀なくされております。依然として、収束が見通せない中で、先行きは極めて不透明な状況であります。

このような状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の状況は、4月～6月にかけて、国内の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う不要不急の外出の自粛や訪日外国人旅行者の著しい減少等により、会員権事業において会員権販売の営業活動が制限され縮小したこと、ホテルレストラン等事業において、ホテル等施設のクローズを行ったこと、メディカル事業において、健診施設のクローズやシニアレジデンスへの新規入居が鈍化したことなど、当社グループの事業活動へ大きな影響を与えております。このような環境下、7月～9月においては、「会員制」の事業を中心とした営業活動が底堅く推移しました。海外渡航ができない中、政府主導の「GoToキャンペーン事業」などにより国内旅行等に対する人の動きが戻りつつあり、高級リゾートへのニーズの高まりや、医療機関へ出控える中での健康への意識や会員制医療サービスへのニーズの高まりにより、ハイグレードなホテル会員権や、高額な旅行プランの販売、メディカル会員権の販売が想定以上に好転しました。また、9月には、予定通り「横浜ベイコート倶楽部」「ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜」が開業を迎え、繰り延べられていた不動産収益を一括計上いたしました。

コロナ禍においても、会員様から継続的にホテルの利用や会員権見込み客の紹介をいただき、会員制ビジネスの強みを再認識するとともに、会員様、顧客の期待に応えるべく、当社グループ独自の3密対策や、メディカル事業での知見を活かした情報提供、会員様への電話相談などの実施のほか、「会員制の基本」に立ち返り、人と人とのつながりを強く、太くすることで、ニューノーマルに対応した当社グループの一生涯戦略を推進しております。

上記のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や会員制ホテルの開業に伴う収益認識等により、売上高は86,276百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益は9,980百万円(前年同期比17.4%増)、経常利益は11,159百万円(前年同期比27.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,696百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

なお、第1四半期連結累計期間において、特別損益にて「新型コロナウイルス感染症による損失」を2,972百万円計上しておりますが、当該損失について新たに570百万円を計上したことにより、当第2四半期連結累計期間においては3,542百万円の計上となっております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	22,164百万円	42,036百万円	+89.7%
セグメント利益又は損失(△)	8,147百万円	14,390百万円	+76.6%

会員権事業におきましては、2020年9月に「横浜ベイコート倶楽部」が開業を迎え、繰り延べてきた不動産収益を一括計上したこと、および、海外渡航制限などによりニーズの高まったハイグレードなホテル会員権の販売が好調に推移したことなどにより増収増益となりました。

なお、4月～6月にかけては、新型コロナウイルス拡大の影響により、特に首都圏での営業活動が制限され、強みである対面営業が行えないことなどにより、前年同期に比べて会員権の販売量は減少しました。このような環境下でテレワーク等の新たなセールスタイルへの対応やWEB経由やビジネスパートナー経由など新たな販売チャネルの研究など未来志向の挑戦を続けております。

【ホテルレストラン等事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	42,167百万円	25,143百万円	△40.4%
セグメント利益又は損失(△)	1,478百万円	△3,181百万円	-%

ホテルレストラン等事業におきましては、4月～6月における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う不要不急の外出の自粛要請等の影響で施設をクローズしたこと、旅行や観光への消費者マインドの低下、特に法人従業員や団体、婚礼、宴会、会議等の利用の減少などにより、ホテル稼働率が減少したこと、特に一般ホテルにおいては、訪日外国人旅行者やビジネス利用客の著しい減少の影響を受けたことなどにより減収減益となりました。一方で7月以降、会員制の施設運営に対して安心感を感じていただくなど、ホテル稼働が回復基調にある中、政府主導の「GoToキャンペーン事業」などによる旅行ニーズが高まりも後押しとなり、高額なプランの販売が好調で消費単価は上昇傾向にあります。このような環境下で、メディカル事業の知見も活用した当社グループ独自の3密対策を行うなど、会員制らしい安心安全の追求を行い事業の持続的な価値創出を続けております。

【メディカル事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	19,532百万円	18,764百万円	△3.9%
セグメント利益又は損失(△)	3,040百万円	2,515百万円	△17.3%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員増加に伴う年会費収入等の増加のほか、シニアレジデンスの運営や、健診事業等が成長しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、会員募集、入居者募集の営業活動が制限されたこと、健診施設では施設のクローズを行ったことなどにより減収減益となりました。一方で健康志向の高まりから「会員制医療サービス」が注目され、メディカル会員権の販売は好調に推移しております。このような環境下で、グループ事業への情報提供や支援によるシナジー創出へ貢献しながら最先端の医療・介護サービスの創造を続けております。

【その他】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	332百万円	333百万円	+0.1%
セグメント利益又は損失(△)	255百万円	254百万円	△0.4%

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は419,166百万円(前連結会計年度比4.6%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、仕掛販売用不動産が8,839百万円減少した一方で、現金及び預金が5,565百万円、受取手形及び売掛金が1,510百万円、有価証券が8,999百万円、投資有価証券が1,397百万円、新たなホテルの開業などにより有形固定資産合計が7,605百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は281,796百万円(前連結会計年度比5.2%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、前受金が19,298百万円減少した一方で、一年以内返済予定長期借入金が17,799百万円、長期借入金が15,617百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は137,369百万円(前連結会計年度比3.3%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が3,854百万円増加したことなどによるものであります。その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は31.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日、2020年11月10日に公表した当期の通期連結業績予想は以下のとおりです。

2021年3月期 通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比	当連結会計年度 (前回8月7日付予想)
売上高	159,145百万円	165,000百万円	+3.7%	158,000百万円
営業利益	11,652百万円	11,000百万円	△5.6%	6,300百万円
経常利益	12,476百万円	13,000百万円	+4.2%	7,800百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	7,135百万円	6,200百万円	△13.1%	3,200百万円

通期業績見通しについては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、4月～6月にかけて、会員権事業における営業活動の縮小、ホテルレストラン等事業における施設のクローズ、メディカル事業における健診施設のクローズやシニアレジデンスでの新規入居者の鈍化など、訪日外国人旅行者の著しい減少や日本国民の県を跨いだ移動の制限、不要不急の外出自粛等による消費の減退など、当社グループの事業活動へ大きな影響を与えております。引き続き、第2四半期にもコロナ禍の影響が続きましたが、2020年9月に開業を迎えた「横浜ベイコート倶楽部」の会員権販売が当初の想定以上に進捗したこと、開業時に、これまで繰り延べられてきたホテル会員権の不動産部分の収益が一括計上された一方で、同時に開業した当社グループ国内初の一般ラグジュアリーホテル「ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜」も含めた開業費用が先行的に発生したことのほか、政府主導の緊急経済対策などにより、人の動きが活性化し、緩やかに回復に向かっております。なお、資金繰りについては、第3四半期まで影響が続く前提をもって、安定かつ安全な経営を持続できるように万全の備えを行っております。現時点で、新型コロナウイルス感染症拡大の中で見えてきた「余暇」と「健康」へのニーズの高まりを着実に捉えていくことを前提とし、通期の連結業績予想を本日(2020年11月10日)付で上方修正し公表しております。

上記の状況を鑑み、当社グループ全体として、売上高165,000百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益11,000百万円(同5.6%減)、経常利益13,000百万円(同4.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6,200百万円(同13.1%減)と増収減益を見込んでおります。

なお、配当金の予想については、配当政策の基本方針に基づき、安定的な還元を継続するため、当初1株当たり中間配当額を10円としておりましたが、業績状況を鑑み5円増額の15円とし、期末配当額(予想)の10円とあわせて、年間配当額(予想)を25円と修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,164	26,729
受取手形及び売掛金	8,233	9,744
営業貸付金	53,549	54,076
有価証券	499	9,498
商品	1,167	1,018
販売用不動産	22,077	22,554
原材料及び貯蔵品	1,014	1,070
仕掛販売用不動産	12,357	3,518
その他	6,232	6,782
貸倒引当金	△1,000	△1,087
流動資産合計	125,296	133,906
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	103,562	120,929
機械装置及び運搬具（純額）	2,621	2,644
コース勘定	7,634	7,634
土地	44,886	49,033
リース資産（純額）	13,721	13,168
建設仮勘定	16,885	2,507
その他（純額）	4,436	5,435
有形固定資産合計	193,748	201,353
無形固定資産		
のれん	3,094	2,797
ソフトウェア	4,969	4,800
その他	2,516	2,311
無形固定資産合計	10,580	9,910
投資その他の資産		
投資有価証券	36,016	37,413
関係会社株式	1,368	1,324
長期貸付金	5,743	6,434
退職給付に係る資産	235	—
繰延税金資産	8,918	9,187
その他	19,536	20,120
貸倒引当金	△611	△484
投資その他の資産合計	71,208	73,996
固定資産合計	275,537	285,260
資産合計	400,833	419,166

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,117	1,053
1年内返済予定の長期借入金	8,107	25,907
1年内償還予定の社債	150	150
リース債務	1,212	1,186
未払金	6,861	6,510
未払法人税等	1,785	4,576
未払消費税等	1,929	677
前受金	22,028	2,730
前受収益	17,002	14,789
債務保証損失引当金	52	51
ポイント引当金	588	932
その他	6,356	8,363
流動負債合計	67,192	66,929
固定負債		
社債	300	225
新株予約権付社債	29,770	29,749
長期借入金	31,016	46,633
リース債務	13,538	12,968
繰延税金負債	376	373
役員退職慰労引当金	2,099	2,133
株式給付引当金	1,803	1,928
退職給付に係る負債	2,231	2,361
長期預り保証金	31,870	31,331
償却型長期預り保証金	69,898	69,198
その他	17,744	17,963
固定負債合計	200,649	214,867
負債合計	267,842	281,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	21,767	21,701
利益剰余金	88,294	92,148
自己株式	△1,802	△1,795
株主資本合計	127,849	131,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△450	558
為替換算調整勘定	728	316
退職給付に係る調整累計額	△328	△261
その他の包括利益累計額合計	△50	613
新株予約権	313	313
非支配株主持分	4,878	4,797
純資産合計	132,991	137,369
負債純資産合計	400,833	419,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	84,197	86,276
売上原価	13,893	23,422
売上総利益	70,303	62,854
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	23,613	20,582
役員退職慰労引当金繰入額	63	33
修繕維持費	2,092	1,252
貸倒引当金繰入額	74	92
水道光熱費	3,019	2,161
減価償却費	4,733	4,131
その他	28,205	24,620
販売費及び一般管理費合計	61,802	52,874
営業利益	8,501	9,980
営業外収益		
受取利息	661	555
受取配当金	36	38
持分法による投資利益	7	—
貸倒引当金戻入額	131	131
債務保証損失引当金戻入額	1	1
助成金収入	12	980
その他	121	126
営業外収益合計	972	1,833
営業外費用		
支払利息及び社債利息	280	243
持分法による投資損失	—	44
控除対象外消費税等	255	226
為替差損	114	13
その他	72	126
営業外費用合計	722	654
経常利益	8,750	11,159

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	2	—
助成金収入	—	1,496
特別利益合計	2	1,499
特別損失		
固定資産除却損	5	13
役員退職慰労金	30	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	3,542
その他	0	230
特別損失合計	36	3,786
税金等調整前四半期純利益	8,717	8,871
法人税、住民税及び事業税	2,811	3,967
法人税等調整額	287	△747
法人税等合計	3,098	3,219
四半期純利益	5,618	5,652
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	118	△44
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,499	5,696

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	5,618	5,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	1,010
為替換算調整勘定	△495	△412
退職給付に係る調整額	47	67
その他の包括利益合計	△446	666
四半期包括利益	5,171	6,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,052	6,360
非支配株主に係る四半期包括利益	119	△42

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,717	8,871
減価償却費	5,278	5,311
のれん及び負ののれん償却額	292	297
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△59	△40
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	261	464
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△67	33
受取利息及び受取配当金	△698	△593
支払利息及び社債利息	280	243
為替差損益 (△は益)	325	19
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,816	△2,039
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,401	7,960
仕入債務の増減額 (△は減少)	△39	△61
未払金の増減額 (△は減少)	△11,875	△396
前受金の増減額 (△は減少)	4,179	△19,288
長期預り保証金の増減額 (△は減少)	△2,397	△1,238
未払消費税等の増減額 (△は減少)	170	△1,230
その他	△2,374	△2,983
小計	1,576	△4,670
利息及び配当金の受取額	699	576
利息の支払額	△262	△199
法人税等の支払額	△3,315	△347
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,302	△4,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	—
定期預金の払戻による収入	3,010	—
有価証券の取得による支出	—	△8,997
有価証券の売却及び償還による収入	1,076	—
投資有価証券の取得による支出	△0	△10
投資有価証券の売却及び償還による収入	59	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△9,229	△12,452
貸付けによる支出	△18	△827
貸付金の回収による収入	83	100
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,876	—
その他	△878	△577
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,785	△22,764

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	12,452	—
長期借入れによる収入	—	35,602
長期借入金の返済による支出	△944	△2,182
社債の償還による支出	△125	△75
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,492	△1,842
非支配株主への配当金の支払額	△75	△10
その他	1,496	1,506
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,311	32,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,776	5,586
現金及び現金同等物の期首残高	23,895	21,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,118	26,963

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,164	42,167	19,532	83,864	332	84,197
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	1,046	162	1,229	767	1,997
計	22,184	43,214	19,694	85,093	1,100	86,194
セグメント利益又は損失(△)	8,147	1,478	3,040	12,665	255	12,921

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	12,665
「その他」の区分の利益	255
全社費用(注)	△4,420
四半期連結損益計算書の営業利益	8,501

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メディカル事業」セグメントにおいて、当社子会社トラストガーデン(株)が、(株)シニアライフカンパニーの株式を取得し、子会社化したことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては47百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,036	25,143	18,764	85,943	333	86,276
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	1,111	90	1,217	951	2,169
計	42,051	26,254	18,854	87,161	1,284	88,446
セグメント利益又は損失(△)	14,390	△3,181	2,515	13,724	254	13,979

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	13,724
「その他」の区分の利益	254
全社費用(注)	△3,998
四半期連結損益計算書の営業利益	9,980

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。